

2025年度 群馬県立女子大学 国語国文学会大会

日時 6月28日(土)13:00-16:35
会場 群馬県立女子大学2号館第1講義室

【総会 13:00～13:20】

【研究発表会 13:20～15:25】

■会長挨拶 13:20～13:25

■坂上郎女の祭神歌について——『生来』の訓詁を中心に——
本学大学院生 牛込 莉子 13:25～13:55

■定家詠における「残る」——「月影」を中心に——
本学大学院生 松本 花 13:55～14:25

■一茶の俳友黒岩鷺白——草津に残る真蹟貼交屏風を通じて——
本学大学院生 柴田 華純 14:25～14:55

■山部赤人の旅の歌
本学教員 鈴木 崇大 14:55～15:25

【休憩 15:25～15:35】

【講演会 15:35～16:35】

越境する古典文学 渡部 泰明 氏

1957年、東京都生まれ。フェリス女学院大学助教授、上智大学助教授、東京大学教授を経て、現在、国文学研究資料館長。
東京大学名誉教授。研究テーマは和歌史。著書に、『和歌とは何か』（岩波新書、2009年）、『古典和歌入門』（岩波ジュニア新書、2014年）、『中世和歌史論 様式と方法』（岩波書店、2017年）、『和歌史 なぜ千年を越えて続いたか』（角川選書、2020年）、『日本文学と和歌』（放送大学教育振興会、2021年）などがある。
古典文学会賞（1990年）、角川源義賞（2018年）受賞、紫綬褒章受章（2023年秋）。

◎参加費無料・来聴歓迎

どなたでもご参加できます。事前申し込みは必要ありません。

お問合せ：群馬県立女子大学文学部国文学科研究室内群馬県立女子大学国語国文学会
群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1 0270-65-8511(大学代表)